

日時：二〇一〇年五月三十一日土曜礼拝 聖日第一、二礼拝

主題『主を解き放て』

聖書箇所：出エジプト記二〇章四～六節

(聖書箇所)

204 あなたはいかなる像も造ってはならない。上は天にあり、下は地にあり、また地の下の水の中にある、いかなるものの形も造ってはならない。あなたはそれらに向かってひれ伏したり、それらに仕えたりしてはならない。

わたしは主、あなたの神。わたしは熱情の神である。わたしを否む者には、父祖の罪を子孫に三代、四代までも問うが、わたしを愛し、わたしの戒めを守る者には、幾千代にも及ぶ慈しみを与える。

(聖書解説)

A (前提) ヘブライの民はエジプトの国で奴隷状態であったところから解放された。その民が共に生きていくことができるように、( ) ( ) の倫理として「十の戒(いましめ)」が与えられた。

B (像の単数形) 「いかなる像も」の「」はヘブライ語で単数形が用いられている。すると、これは宗教全般にみられる、信仰対象としての彫像・偶像のことを指してはいない。

C (禁止された偶像化行為) 聖書が物語る単数形の神は、天地を創造した主なる神のことである。( ) ( ) 禁止令は、創造主をいかなる形でも具象化することを禁じたものである。実際は、どんなものをもってしても、表現しきれるものではない。

D (創造主なる神のご性質) 創造主なる神は( ) ( ) の神だと告白される。

E (トコトン祝福するお方) 創造主なる神は、慈しみに富み、( ) ( ) のない恵みを注ぐお方である。

A 最低限 B 像 C 偶像 D 熱情 E 際限

メッセージポイント

**偶像禁止令とは、神の働きはこの程度だと）（）することを指す。**

参照）出エジプト記20:4 あなたはいかなる像も造ってはならない。

参照）コリント2:9 しかし、このことは、「目が見もせず、耳が聞きもせず、人の心に思い浮かびもしなかったことを、神は御自分を愛する者たちに準備された」と書いてあるとおりです。

**熱意を持って、）（）  
ない歩みを貫いていこう。**

参照）出エジプト記3:14 あなたはほかの神を拜んではならない。主はその名を熱情といい、熱情の神である。

参照）ローマ書12:11（口語訳）熱心で、うむことなく、霊に燃え、主に仕え、

参照）ローマ書12:11（新共同訳）怠らず励み、霊に燃えて、主に仕えなさい。